

海燕社

の小さな

映画会2025

6.15日 14時～

沖縄県立博物館
美術館 講堂(3F)

受付13:15 開場13:30 料金 1,200円(予約) 当日1,500円

※小中高生は600円(先着10名まで無料)

予約は海燕社まで TEL: 098-850-8485 E-mail: mail@kaiensha.jp

かいえんしゃ



予約フォーム

九州・沖縄から

文化力

POWER OF CULTURE

後援: 沖縄県、那覇市



芸術文化振興基金

6月会

June 2025 Meeting

沖縄戦を知らない世代に地獄の戦場を知ってもらおうと
思い出すことも辛い戦争体験を語って下さった証言者の
みなさまに敬意と感謝を込めて上映します。

映文連アワード 2012 文部科学大臣賞

『ふじ学徒隊』

監督: 野村岳也 / 製作: 海燕社 / 2012年 / 48分

沖縄戦で激戦の本島南部に動員されたほとんどの
女子学徒隊が多く戦死者を出した。そんな中
3名の戦死者にとどまったのが「ふじ学徒隊」である。
それはなぜか…。1941年ヘチマ襟の制服を着た積徳高等女
学校の1年生。しかし、彼女たちは一度も憧れのセーラー服を
着ることはなかった。

証言: 仲里ハル、宮城トヨ子、宮城喜久子、田崎芳子、渡久地敏子、名城文子、真喜志光子、
真喜志善子、嘉手納米子、平良ハツ、新垣道子(ふじ同窓会会長)、大城正禎(豊見城の住民)

写真: 映画パンフレット・チラシより

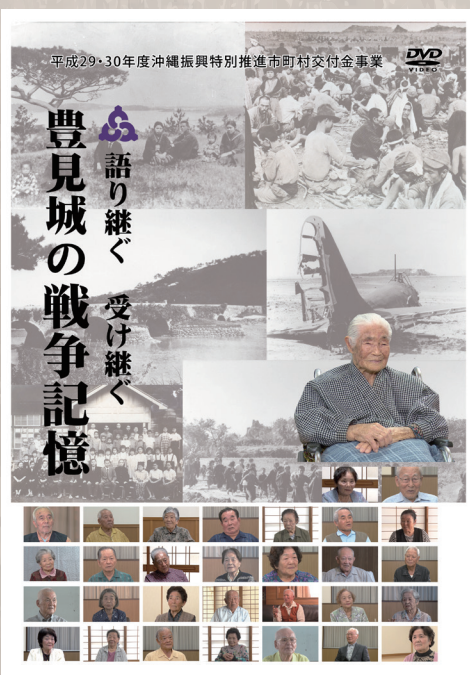


写真: DVDパッケージより

映文連アワード 2019 ソーシャル・コミュニケーション部門 優秀賞

『語り継ぐ受け継ぐ 豊見城の戦争記憶』

企画・著作: 豊見城市教育委員会 / 映像制作: 海燕社
2019年 / 42分

年々、戦争体験者が少なくなり、沖縄戦の記憶の継承が課題
となっている。豊見城市では、戦争を知らない世代に故郷の
沖縄戦を伝えようと、二年間にわたり、戦争体験者の話を映
像に記録した。戦前、戦中、戦後。戦争体験者の話を通して、
豊見城の戦争とは、どのようなものだったのか。31名の証言
で振り返る。

証言: 赤嶺宏(豊見城)、高良光昭(豊見城)、平良ハツ(学徒隊) 真喜志光子(学徒隊)
名城文子(学徒隊)、高良ツル子(宜保)、金城キク(宜保)、瀬長俊雄(我那覇)
上原テル子(名嘉地)、比嘉重次(瀬長)、安谷屋タケ(与根)、大城シゲ(伊良波)
大城辰男(伊良波)、大城光雄(座安)、高良健二(渡橋名)、宜保直志(上田)
大嶺文子(渡嘉敷)、大城盛昌(翁長)、高安亀平(翁長)、富銘光清(保栄茂)
金城利一(高嶺)、嘉数陽之男(平良) 宜保フミ(高安)、平田春(高安)
大城良子(高安)、平田光枝(高安)、又吉トミ(長堂)、宮城右勲(長堂)
赤嶺ハル(嘉数)、金城静子(真玉橋)、外間清幸(根差部)

上映作品、上映日は都合により変更することがあります。詳細は、海燕社のウェブサイト(<http://www.kaiensha.jp>)やSNSにてご確認ください。

古書店 うみつばめ

URL: <http://kaiensha.stores.jp> @KoshoUmitubame

海燕社のウェブ古書店うみつばめ。年中無休で開店しています。
こだわりは、画家 石垣克子デザイン、オリジナルブックカバー
とオリジナルしおり(3種類)です。いずれかをご購入の本におつけ
します。よい本と出会えますように。

